

学生募集!

2020年4月より東外大とEUとの
ダブル・ディグリープログラムが始まります

HISTORY IN THE PUBLIC SPHERE, HIPS

公共圏における歴史

文部科学省 大学の世界展開力強化事業

～日-EU 戦略的高等教育連携支援～ 採択プログラム

2020年4月に本学博士前期課程へ入学・在籍する学生が履修できる英語による新たなダブル・ディグリープログラムが始まります。

参加学生は、2年間半のプログラム期間中に、本学、中央ヨーロッパ大学、新リスボン大学、フィレンツェ大学、フランス国立東洋言語文化大学の各機関を巡りながら、基礎学習・研究・インターンシップを実践し、本学での合同審査を経ることで、東京外国語大学の学術修士に加え、中央ヨーロッパ大学のMaster of Arts in Historyを取得することが可能です。

■ 応募資格

2020年4月時点で本学博士前期課程に在籍する学生の内、希望者について選抜を行います。プログラム選抜方法については希望者において連絡します。

■ 博士前期課程募集要項

http://www.tufs.ac.jp/admission/pg/application_master.html

● 社会人歓迎!!

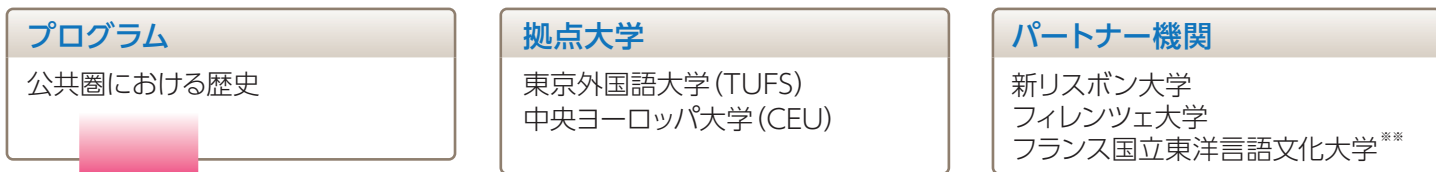


東京外国語大学博士前期課程プログラム



目的 学術視点で歴史的知を創出し、実践に架橋できるグローバルな日欧専門人材を育成する

概要 拠点機関を中心に国際コンソーシアムを構築し、DD^{*}プログラムを運用する体制の構築



国際コンソーシアム

歴史(過去)を正しく知ることは、今(現在)を理解し、将来(未来)を創ること

応用歴史学を通じた過去と現在の理解

方法論
(理論)

現地体験
(実践)

国際交流
(価値の創造)

4つのテーマ

フィールドワークや
インターンシップを
通じた実践的な学び

コンソーシアム内での
移動と履修



地域を移動し、学習する

履修の枠組み(コンソーシアムの共同実施)



国際コンソーシアム内での移動と履修

^{*}ダブル・ディグリー ^{**}アソシエイト・パートナー機関

ヨーロッパと東アジアの相互理解の推進

◎ 育成する人材

博物館・美術館、ジャーナリズム、放送・デジタル・メディア、ビジネス、外交等

お問い合わせ先

国立大学法人東京外国語大学 総務企画部国際化拠点室 アゴラ・グローバル2F
E-mail: kokusai-kyoten@tufs.ac.jp